

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年3月30日

スタッフ 9名

事業所名 児童発達支援センターはぐはぐ子ども村

チェック項目		はい	いいえ	不明	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0		十分なスペースが確保されており、遊びと運動が個別にできる。	現状を維持する
	2 職員の配置数は適切である	8	1		配置基準より多めの職員で対応している。	員数は現状維持し、スキル向上を目指す
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0		絵や写真等を使い視覚支援を行っている。 玄関から棚・トイレ・部屋までの流れがスムーズに移動できるようになっている。	日常的に点検、見直しをしていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0		毎日の清掃・除菌・消毒・換気を徹底し、遊具の安全点検を実施している。	現状を維持する
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0		ケース会議の実施、毎日の朝礼を通して共通理解を深めている。	現状を維持する
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		ホームページに掲載し、適宜相談などを受け、改善できることには対応している。	現状を維持する
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0		ホームページに掲載している。	現状を維持する
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	9			未実施であり実施に向けて検討を続ける。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0		研修後は報告書やケース会議での報告により職員間で共有している。	施設内外での研修参加を行っているが、効果的な受講を行うようにする

チェック項目		はい	いいえ	不明	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	9	0		保護者の意向を踏まえた目標の設定・半年ごとに個別の計画案を作成し支援している。	現状を維持する
	11	8	1		定型アセスメント様式を使用し、専門職による評価・意見を取り入れている。	必要に応じてフォーマットの見直し等行っていく
	12	9	0		月別活動表などを参考に、具体的な内容が示された、支援に必要な計画が立てられている。	現状を維持していく
	13	9	0		事前に個別目標を確認し、職員間で共通理解しながら療育を行っている。	評価の手法を検討していく
	14	9	0		療法士や保育士等の意見を生かしながら立案している。	全員参加の意識を持ち活発に意見を出し合っていく
	15	9	0		制作・設定保育・園外保育など月や季節が感じられる工夫をしている。	
	16	9	0		子どもの発達レベル・特性に応じて活動内容の工夫を図っている。	現状を維持する
	17	9	0		支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	子どもの体調等を踏まえて確認していく
	18	9	0		支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	現状を維持する
	19	9	0		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	現状を維持する
20	9	0		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	現状を維持する	
関係機関や保護者との連携	21	9	0		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	現状を維持する
	22	8	0	1	見学も受け入れ丁寧に対応している。	関係者、機関との連携は重要なことと認識している
	23	-	-		該当無	
	24	-	-		該当無	
	25	8	0	1	保育所等訪問支援を行っており、見学にも対応している。	現状を維持していく
	26	8	0	1	要望がある時は情報提供している。	小学校等との情報共有をふかめていきたい
	27	6	0	3	極力連携をとれるよう心掛けており連絡協議会にも参加している	さらに連携を深めるよう努力していく
	28	4	2	3	保育園・幼稚園に通園しながらの利用が多い。イベント実施の際は告知をしている。	現在全員が並行利用であるが、単独利用の際は交流等積極的に行っていく
	29	2	2	5	代表者が地域の会議等へ参加している	情報周知等工夫していく
	30	7	1	1	コロナ禍の為、個別参観や電話・手紙等で共通理解に努めた。	保護者との認識の差異がないよう連絡を密に保つようにする
	31	9	0		随時ペアレントトレーニング、講演等行っている	本年度は開催が困難な状況であったが次年度継続して行っていく

チェック項目		はい	いいえ	不明	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0		契約時に丁寧な説明を行っている。	現状を維持する
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0		個別支援計画に基づいて保護者に説明をし、同意を得ている。	保護者への説明についてはさらに丁寧でわかりやすい説明を心がけていく
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0		お便り等でいつでも相談に応じる旨を発信し、保護者からの相談には迅速に対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	3		コロナ禍のため保護者同士の交流の機会が多く作れなかったが、今後いろんな手段、方法を考えていく
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0		電話や手紙により連絡を受けた時は、迅速に対応し、相談の内容によっては調整をし、園長に対応を依頼した。	気軽に相談できる体制、環境を充実していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0		月1回のお便り、年1回のニューズレターを発行している。	現状を維持する
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0		職員全員で意識し配慮している。	事例の収集、案内をおこない十分に注意している
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	4	丁寧なかかわりを継続していく。	時間を十分にとり適切な対応をしていく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	1	2	例年、大きな行事に来ていただいている	社会的な状況の為実施できなかった行事等状況を見ながら開催を検討していく
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	8	0	1	コロナ対応感染症マニュアルを作成した。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0		毎月予告なしで実施している。	現状を維持する
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0		看護師や知見のある職員からの助言・指導を全職員に周知して共通理解している。	現状を維持する
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0		看護師や知見のある職員からの助言・指導を全職員に周知して共通理解している。	現状を維持する
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0		全職員に周知して共通理解している。	法人内で各事業所の事例を共有していく
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0		研修を受けた職員による伝達研修を実施している。	全員の公的研修受講を済ませていく
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0		契約時及び支援計画に記載して説明をしている。	現状を維持する